

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

問題番号 II-1-

← 解答する問題番号（1から4）を点線の枠内に必ず記入すること。
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(1) 「シームレスな拠点連結型国土」の構築
 全国計画におけるシームレスの概念は、デジタルとリアル
 の融合により行政界を越えて暮らしに則したサービス等
 を展開することである①。昨今、東京一極集中化により地方
 の人口減少やそれに伴う地域力の弱体化が深刻化している。
 持続的な生活圏の確保には、人口や諸機能を分散的に配置し、
 機能を集約していく必要がある②。このため、高規格道路等の
 交通ネットワークやデジタルインフラにより広域的にシームレス
 に繋がらうこと③、場所や時間の制約を克服し、全国どこでも
 誰もが便利で快適に暮らせる社会を実現していく。

- ① 説明すべきは、シームレスな拠点連結型国土です。この説明の過程において、シームレスの概念に触れればよく、あくまで説明の主体はシームレスな拠点連結型国土です。この項目全体が、シームレスの説明になっているように見えます。
- ② 社会背景ではなく、シームレスな拠点連結型国土を説明しましょう。例えば、「東京一極集中の是正を図り、国土全体にわたって、広域レベルでは人口や諸機能が分散的に配置される国土構造を目指すものである」といった具合に内容を説明する形にすると良いでしょう。
- ③ ここで、シームレスが出てくるので、概念を補記すると良いと思います。

(2) 広域的な機能の分散と連携強化への期待
 ① 全国的な回廊ネットワークの形成
 シームレスな高規格道路ネットワークや自動運転等のデジタル技術を活用した交通等、国土全体のネットワークの強化により、
 広域にわたって巨大災害にお

る リダンダンシーの確保を図る ④。これにより、人口が集中する太平洋側のみならず日本海側のポテンシャルを発揮した 粘り強い ⑤ 国土構造の構築が期待できる。

④ ネットワークの形成が、災害対策であるように読めます。このネットワークは、「①中枢中核都市等の機能の維持・強化を図りつつ、広域圏内の生活圏とのネットワークを強化し、一体的な広域圏の自立的な経済循環システムの構築を図る、②質の高い交通やデジタルのネットワークといった国土基盤の充実・強化を通じて、日本海側と太平洋側の二面を効果的に活用しつつ、内陸部を含めた連結を図る、③広域にわたる巨大災害におけるリダンダンシーの確保を図る国土全体のネットワーク機能を強化する」といった役割があると思います。よって、この説明では、1側面の説明になっています。

⑤ 何に対して粘り強いのか記載しましょう。

② 日本中央回廊の形成

三大都市圏を約1時間で結ぶリニア中央新幹線の整備により、経済集積圏域を形成する。併せて、主要国際空港や国際コンテナ戦略港湾の機能強化及び活用を図ることで、広域的な人流・物流の効率化や国際競争力の強化が期待できる。以上